

～夢と希望をはぐくむ県南の教育～



# 県南社教TIMES

第9号  
平成31年1月25日

編集・発行 福島県教育庁県南教育事務所 阿部 央

## 「地域学校協働活動」文部科学大臣表彰

### おのだなかよし教室（白河市）



長年にわたる地域と学校の協働・連携による活動が大きく評価され、文部科学大臣表彰を受賞されました。

放課後子ども教室では、地域ボランティアによる学習支援、室内遊び、スポーツ活動を中心とした活動を行うとともに、季節ごとの日本の伝統的な行事（七夕、お月見様、団子さしなど）を学校の授業の一環として行い、伝統文化の継承を通じ地域の方との交流を推進しています。

また、学校支援にも取り組み、生活科の授業支援、校舎内へのちぎり絵やお便り等の掲示、保護者懇談会での児童の安全管理、登下校の見守り活動など積極的に関わっています。そして、このような活動を地域全体に発信して、地域と学校の協働活動を広げています。



<だんごさし（1・2年生） 1/15>



<ちぎり絵づくり>



<文化祭出品『市長賞』>

## 「情報発信プロジェクト」中高生によるビブリオバトル福島県大会

県の事業「ふくしまの未来をひらく読書の力プロジェクト」の一環として、開催されました。今年度から、高校生の部は地区予選を行い、上位6名が決勝へ進出することになりました。（中学生の部は地区予選なし）

県南域内からは、次の5名が出場し、紹介する本への思いを豊かなプレゼン力を発揮し、観戦者に伝えることができました。

県大会は、11月17日（土）に県立図書館で開催され、中学生の部に出場した表郷中学校3年の鈴木康生さんが、見事準優勝に輝きました。



### 鈴木さん（表郷中）準優勝！

#### <大会出場者と紹介本>

- 白河市立表郷中学校
- 白河市立東北中学校
- 白河市立東中学校
- 県立白河旭高等学校
- 県立白河旭高等学校

- 鈴木 康生
- 有賀 里麻
- 天倉 育未
- 國井 元稀
- 仁井田 英

- 「できる人は必ず持っている一流の気くばり力」
- 「キノの旅 XXI the beautiful world」
- 「高校生の私が中学生になった理由」
- 「儂い羊達の祝宴」
- 「ソードアート・オンライン」

## “ひがししらかわ” 輝くふる郷体験事業

過疎・中山間地域連携事業の一環として、東白川郡内全小学校で実施しています。地域の人材を活用した体験活動を通して、地域のよさを再発見して、次代を担う人材を育成します。



**六万石棚倉太鼓(10/30)**  
【棚倉小学校】

6年生が11月の学習発表会で地域や保護者の方々に披露しました。



**さつまいも・そば収穫(11/2)**  
【山岡小学校】

全校生で収穫し、12月には収穫したそばで、そば打ち体験を行いました。



**組子細工教室(11/5)**  
【矢祭小学校】

講師の方の実演を見学し、各自が思いの作品を制作しました。



**ダリア染め体験(11/14)**  
【笹原小学校】

今年度から笹原小の6年生が体験しています。(昨年度まで常豊小で実施)



**こんにゃく作り体験(11/14)**  
【笹原小学校】

学校の畑で栽培したこんにゃくを使って5年生が体験しました。



**そば打ち体験(12/11)**  
【鮫川小学校】

鮫川そばクラブの方のご指導で、6年生がそば打ちに挑戦しました。

## 社会教育事業アラカルト

### 県南域内社会教育・文化施設情報交換会(12/12)

域内の社会教育・文化施設関係者が集まり、棚倉町教育委員会の共催で研修会を行いました。はじめに、県南教育事務所から、地域学校の協働連携のあり方と今後のしくみづくりについて説明しました。次に、棚倉町文化センターの施設見学を行い、プラネタリウムでは実際に星座の様子を上映していただきました。その後、グループごとの分科会では、各市町村の取組状況の発表と意見交換を行いました。最後の全体会では、国立那須甲子青少年自然の家と福島県文化財センター白河館から情報提供とこれからの生涯学習推進についてご指導いただきました。参加者からは、「他市町村の事業や課題を共有することができ大変参考になった。」「普段聞くことができない情報等を知ることができた。」と好評でした。



### 放課後子ども教室事業



【高野子ども教室】

昔話を聞いて、最後に閉級式を行いました。



【埴子ども教室】

みんなで協力して、クリスマス会の準備を行いました。



【近津子ども教室】

閉級式の後、全員で楽しくエアロビクスを行いました。